

# COM待夢

70号紙  
2015年10月23日



10月も下旬となり、早いもので今年も残り2ヶ月となりました。年末までもう一踏ん張り。気を抜かず頑張ります。また最近朝晩の冷え込みも増し、冬の到来も間近に迫っています。皆さんも風邪などひかぬよう体調にお気を付けてください。さて今月の「ピカリンcom」は、先月新規設備機として導入した東芝機械製横型中ぐりフライス盤を紹介します。

## ピカリンcom —テーパー形横中ぐりフライス盤編—



上の写真は先月まで弊社主力設備として活躍していた安田機械製NC横型中ぐり盤「YBM-60N」に代わり新規設備した東芝機械製「BTD-100-R10」です。

- 主な仕様
- 主軸馬力 30kw
- 主軸クイル式 (W軸)
- テーパーサイズ 900×950
- テーパー最大積載重量 2.5t
- ATC 60本



- デメリット
- ・APC装置が無くなり、外段取りができない
- ・テーパーサイズアップに伴い、段取りが遠くなった
- ・ATC 80本から60本に減少
- ・制御装置がファナックからトスナックに変わったため、プログラム変更が大変である

デメリットも多少ありますが、加工ワークの拡張に伴い、従来では加工できなかった部品にも対応できるようになり、新規開発の幅も広がることでしょう。

また、効率を上げる為他の機械との関係も十分考慮して段取りを見直し、この機械を最大限活用して頂きたいと思えます。

「YBM-60N」では工作機械の主となる主軸ハウジングの加工等を行っていましたが、機械の老朽化に伴い、この度更新となりました。23年もの長きに渡り、沢山の様々な部品を製作してくれた機械に感謝するとともに、今後は新たに加わったこの機械を大切に使用し機械製造をしていかなければならないと感じました。

機械を使い始め、約1ヶ月経ちましたが、ここで担当の川村リーダーより新規設備のメリット、デメリットを上げてもらいました。

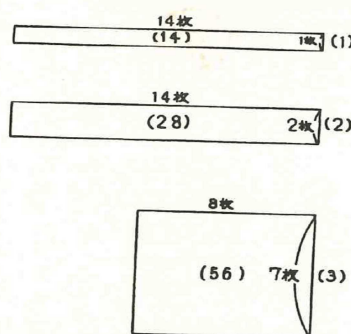
- メリット
- ・最大加工ワークの拡張
- ・機械更新により加工精度が良くなった
- ・主軸クイル式により深穴ボーリングが容易となった
- ・ワークを多方向から見ることで、加工中の視認性が良好
- ・USBが使えるようになり、プログラムの出入れや編集がしやすい
- ・B軸補正機能でワークの平行出しが素早く行える

## Brain タイヤ

○6月1日の答え

左図のとおり。最初、畑は、(1)のような形をしていたと考えられる。

◎正解者 0名



△問題

国際列車の中で、ある男が、左のような絵を見せてくれた。何か模様のようで、とても絵に見えない。これはいったい何か。

